くも合戦

かじき 広報

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き
（平成元年３月１日現在）

総人口23,833人（－15）	出生　17人
男　11,227人（－18）	死亡　8人
女　12,606人（＋3）	転入　75人
世帯数 8,251　（－4）	転出　99人

●（　）内は前月との比較●

柁城小の校舎が完成

柁城小学校の木造校舎が、モダンな鉄筋コンクリート二階建ての新校舎に生まれ変わり三月二十五日、宇都宮町長をはじめ学校長、町議会議長など関係者がテープカットを行い完成を祝いました。

これは、町が昨年八月から工事を進めていたもので、新校舎は、一階に普通教室四、二階には理科と音楽の特別教室があり、理科室には県下で初めて導入された〝プラネタリウム学習〟ができる天体ドームが設けられています。

また、音楽室には、一台に六人の児童が一緒に座り、十二の楽器の音色を演奏することができる七台のディスクオルガンも設置されています。

校舎も子供たちもピッカピカの１年生です

平成元年

4月号

今月のページ

▷議会報告，椋鳩十さんをしのんで…2 ▷施政方針…3～10 ▷一般会計予算…11 ▷町長と語る会…12～13 ▷役場職員の異動…13 ▷まちのわだい…14～15 ▷／熱戦／スポーツニュース…16 ▷薬草，さつま狂句 在宅医…17 ▷おしらせ…18

●No.414　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62―2111●

議会報告

「課設置条例」などを可決

第1回定例会

第一回町議会定例会は、三月十日から二十七日までの十八日間の会期で開催され、平成元年度の予算や「課設置条例」など三十四の議案を審議し、三十一の議案を原案どおり可決、三議案を継続審査としました。

また、「加治木出張所事務所建設費一部助成について」の陳情を採択しました。

工事監査課を新設

「加治木町課設置条例」の一部改正は、四月一日から新たに「工事監査課」を設けようとするものが主な改正で、原案どおり可決されました。

工事監査課は、南庁舎二階の土木課の東隣りに設けられ、工事請負及びその他の契約に関する事務や工事の検査及び指導を行うことになっています。

名誉町民条例を制定

定例会では、町民や加治木に縁故の深い方で広く社会の進歩発展に貢献され、町民の尊敬の的と仰がれる人に『名誉町民』の称号を贈与するための「加治木町名誉町民条例」が可決されました。

名誉町民の称号は、町長が議会の同意を得て贈与することになっており、名誉町民に対しては、町の公の式典への参列や年金の支給などの特典等が与えられます。

◇　◇　◇

「加治木町簡易水道等施設設置について議決を求める件」が原案のとおり可決されました。

これは、小山田地区に生活用水を供給する上場東地区簡易水道に関するもので、平成元年度から平成三年度にかけて、配水管の埋設工事などが行われます。

提案理由を述べる宇都宮町長

伊地知武士氏の任命に同意

町教育委員会委員

伊地知武士さん

町議会では、任期満了に伴い欠員となっていた町教育委員会委員に伊地知武士氏を任命することに同意しました。

任期は、四年間です。

▽伊地知武士氏の略歴

昭和三年四月十三日生まれ

蒲生町立蒲生中学校教諭、鹿児島大学教育学部付属中学校教諭、県立鶴丸高等学校教諭、県教育センター研究主事、県立加治木高等学校教頭、県立古仁屋高等学校校長、県立加治木高等学校校長などを歴任。

◎現住所……反土九〇九番地三二一

平成元年度から工事に着工

上場東地区簡易水道

椋鳩十さんをしのんで

〈第4回〉

茨城大学名誉教授
解釈学会　会長
山口　正

椋鳩十さんは自然と人間との交流をテーマとして、たくさんの児童文学を書きました。戦前のあの暗い幾年かの間、作家たちはミリタリズムの風に吹きまくられて、ペンを折ったり、軍部に迎合したりしたのでした。

椋さんは動物が好きで、それが天与の幸いでした。児童文学を書き出して、常に動物のことがテーマ（主題）となっていましたので、たちまちその方面の第一人者となられたのです。

私の好きな中の一つ「マヤの一生」の冒頭部が一月号に写真で出ていました。その下の方に懐かしい「力一杯今を生きる」の碑文を皆さんも見ておられると思いますが、椋さんは本当に力一杯生きた方でした。

作品の中でも、動物の愛情物語が生き生きと描かれていますから、次々と読んでください。

動物たちの生活をよくもあんなに描写できたものだ、という感動を味わってください。

母親がその子を救うため命をかけて戦う話や、兄弟むつまじく遊びたわむれる様子など。そして、人間である私どもも精一杯頑張って幸せをつかみ取ろうという、やる気を起こさせますから、どうか、自分の目で声でそして心で読んでください。

ある作家は「心で文学を創（つく）ること」を力説しています。創の字は創作・創造の創です。

つまり、読み方次第で人は作家と同じ創作の体験をすることが可能であることを教えているのだと思います。

文学のだいご味というものは自分で読まなければ味わえません。活字の一つ一つをたどり読みしてこそ、作者の心を追体験することができるのです。

ああ、わが故郷（ふるさと）に、世に先駆けた「心の文化をよみがえらせる」時が来た、そう胸中で叫びつつ、私はあの「お天神さあ」の神殿の前へ出ました。梅の木も昔のままですが、私には椋の木が昔を語るかのように見えていました。椋の実が落ちているのを糠（ぬか）の小箱に入れ熟（じゅく）してから食べたことを弟と語りながら、昔の新町通りへと歩きました。

心豊かな活力あるまちづくりを

施政方針

宇都宮町長は、三月十日開会された第一回町議会定例会で〝心豊かな活力あるまちづくり〟のために「交通体系」「働く場」「水と緑」「教育と文化」「健康福祉」「住環境」「安全衛生」「行財政」の八つの施策を柱とする施政方針を説明しました。

（紙面の都合により一部省略して掲載します。）

町民の英知を結集し町政の躍進を

我が加治木町は、これまで幾多の試練を克服いたしまして、今日のような発展を遂げつつあります ことは、これもひとえに町民各位のたゆまない御努力と議会の皆様がたの御協力のたまものでございまして、心から敬意と感謝の意を表するものでございます。

私も町長に就任をいたしましてから二年と四か月を経過しようとしておりますが、町政を推進するに当たりまして、常に高潔と公正を旨とし限りなく町政を前進するために、所要の施策を積極的に展開し、来るべき21世紀への大きな躍進に向けて、まちづくりのために努力をしてまいりました。

今後とも精力的に努力を重ね、町民の厳粛な負託にこたえてまいる所存でございます。

そのために、私は昭和六十三年度もあらゆる点に官民一体となりまして町民の英知を結集いたしまして、町政をなおいっそう躍進させるため、町民の先頭に立ってあらゆる所に精力的に布石を打ってまいったつもりでございます。

おかげさまで、改めて加治木を見直していただきまして、具体的に予算措置をしていただいた面も多々あり、まことに有り難く思うしだいでございます。

財政の健全化を

我が国経済を取り巻く国際情勢を見ますときに、引き続き緩やかに拡大するものと期待されておりますが、また一方、発展途上国は相変わらず景気の緩やかな拡大が期待はされますものの、一部の諸国では多額の累積債務を抱えるなど、困難な状況が続くものと予想されまして保護主義的な動きも引き続き懸念されております。

ここのところ、円安傾向が続いているようでございまして、インフレの傾向も予想される今日でございます。

一方、国内におきましては、国及び地方自治体の財政は累積した多額の借入金残高を抱えるなど引き続き厳しい状況にございます。早急に財政の健全化に向け、格段の努力を傾注すべき状況にあります。

このような経済情勢にかんがみ政府はさきに平成元年度の経済運営の基本的な態度を決定し、同時に国の予算案及び地方財政計画を策定いたしております。

これを要約いたしますと、第一は、内需を中心とした景気の持続的拡大を図るとともに、雇用の安定及び地域経済の活性化を図る。

第二は、我が国が国際経済社会に占める地位にふさわしい役割と責任を担い、自由貿易体制の維持強化に向けて率先して努力するとともに、調和ある対外経済関係の形成と世界経済活性化への積極的貢献を行う。第三は、行財政改革を強力に推進する。第四は、引き続き物価の安定を維持する。第五は、新しい経済計画「世界とともに生きる日本」に基づき、豊かさを実感できる多様な国民生活の実現を図る。第六は、国土の均衡ある発展や新たなフロンティアの開拓等により、将来に向けて我が国経済社会の発展基盤の整備を図るといたしております。

平成元年度の国の予算編成は、厳しい財政事情の下で、引き続き行財政改革を強力に推進し、速やかに財政の対応力の回復を図ることが緊急かつ重要な政策課題として、既存の制度や施策について更に見直しを行うなど、経費の徹底した節減、合理化の措置がとられているようでございます。

国の一般会計予算は六十兆四千百四十二億円

国の一般会計予算は、六十兆四千百四十二億円でございまして、六十三年度の当初予算に比べ三兆七千百四十五億円の増でございます。伸び率で申しますと、六・六パーセントとなっております。

また、地方公共団体の財政運営の指針となります地方財政計画につきましては、おおむね六十二兆七千七百億円でございまして、これも前年度に比べまして八・六パーセント程度の増となっております。

本年度の地方財政は、昭和六十三年度までの国庫補助負担率の暫定措置が終了いたしますことに伴いまして、新たに国のたばこ税の二十五パーセントを地方交付税とするなど国から地方への恒久財源の委譲による地方一般財源の充実を図りつつ、総合的な見地から国庫補助負担率の見直しを行うこととされておりますものの、果たして本町にどれくらいの影響があるのか、定かではございませんが、引き続き厳しい財政状況ではございます。

地方交付税の総額は十二兆四千六百八十九億円となっておりまして、前年度より約十七・三パーセントの増となっております。

また、地方債の計画は八兆八千五十一億円でございまして、前年度より四・一パーセントの減となっております。

〔重点施策は……〕

- ▶町内道路網の整備
- ▶下水道の整備
- ▶龍門滝を核とした環境の整備
- ▶教育文化施設の建設
- ▶建替事業と住宅施策の推進
- ▶農業の振興と商工業の推進
- ▶庁舎内の環境整備
- ▶ソフトな住民との対話

私は平成元年度の予算を編成するに当たりまして、厳しい財政状況ではありますが、国・県の施策の動向に適切に対応いたしますとともに、行財政運営の自主的な努力を傾注することを基本として、重点施策といたしまして八つの施策を設けております。

まず一つが町内道路網の整備でございます。

二番目が、懸案となっております下水道の整備でございます。

三番目が、照明施設等の整備により、雄大さが一段と増しました龍門滝を核としての宇曽ノ木渓谷並びに高岡公園等の広域な環境の整備でございます。

四つ目に、教育と文化の町としての教育文化施設の建設でございます。

五つ目が、町営住宅の老朽化に伴いまして、建替事業と住宅施策の推進でございます。

六つ目に、農業の振興と商工業の推進。

七つ目に、事務の効率化に向けての電算機の導入と庁舎内の環境整備をしての住民へのサービス。

最後の八番目に、今までどおりの、昨年も実施いたしましたが、やはりソフトな住民との対話でございます。

これらの八つの事業をめどといたしまして、総合的に検討をいたしましたが、御案内のとおり地方自治体におけます財政事情は大変厳しい状況でございます。

私は本年度の重点施策の一つといたしまして、文化的な居住都市の実現を目的に、町長と語る会等を地区公民館長さんの御協力をいただきまして、地区公民館単位で実施してまいりましたが、住民のかたがたの行政に対するニーズは複雑・多様化いたしておりますものの、行政に対する期待をひしひしと肌で感じることができました。

また、21世紀に向けて本町が抱えております立場など、いろいろなことを総合判断いたしまして、積極的な予算の編成に努力を傾注いたしたつもりでございます。

そしてまた、本町の将来目標でございます「市民生活が躍動する文化的な居住都市」建設のために行財政の最大限の努力を傾注し、町民すべてのかたがたが望んでおられます人口三万人達成のために官民一体となって努力をしてまいる所存でございます。更には、大きく飛躍をいたしまして、市制への第一歩を踏み出す時期が来るべきだと考えておるところでございます。

交通体系

町の花・つつじが美しい仮屋馬場通線

木田振興地区の開発を

大綱の第一点は、交通の流れをよくするための道路等の「交通体系」の整備促進でございます。

本町の新市街地・加治木団地の総計画戸数七百七十戸について昭和五十六年度から分譲がなされ、平成元年一月末現在におきまして県営住宅を含みまして六百七十五戸が分譲済みでございます。錦江駅の開業、近隣センターの整備、地域振興住宅制度の活用などは分譲促進にかなりの影響を与えておりまして、本町における利便性のある団地として、今後もますます分譲の促進が図られるものと期待をいたしておるところでございます。

また、海浜ニュータウンといたしまして、木田振興地区に日本勤労者住宅協会によります住宅団地が造成され、分譲途中で工事中止となっておりますが、この土地の有効利用などを含め、木田振興地区の整備を図るため具体的基本計画の策定を行い、今後の開発に向けて努力をしてまいります。

また、加治木団地から県道栗野加治木線までの間の国道十号バイパスの建設促進につきましては、機会あるごとに鹿児島国道工事事務所、建設省九州地方建設局あるいは本庁建設省、前・越智建設大臣等にも陳情活動をいたしてまいりました。その結果、加治木インター付近の用地買収費がついたようでございます。今後もあらゆる機会を通じて実現に向けて努力をしてまいります。

小山田線の改良を

文化的居住都市の建設は、なによりも道路など地域基盤の整備がまず必要でございます。

街路事業といたしましては、継続して木田本通線及び錦江駅前通線を施行してまいります。

木田本通線の施行につきましては、地域居住環境整備のため平成三年度完成を目指しまして、関係住民のかたがたの理解と協力を求めながら最善の努力をしてまいります。

小山田線を引き続き改良

錦江駅前通線は、駅周辺における将来の交通円滑化を図るため駅前広場や新生町南線の環境整備を含めまして整備を図ってまいります。

一般町道の整備につきましては自動車交通の円滑化と歩行者及び自転車等の安全の確保をするため補助事業の活用を図り、地域のかたがたの理解と協力を得ながら、積極的に推進してまいります。

また、道路の維持管理につきましては、失業対策事業の廃止に伴いまして、これに代わるべき施策として直営により施行をしてまいることといたします。

次に、道路の管理は重要な責務でございまして、常に道路の状況を把握し、的確な維持管理に努めてまいります。

国庫補助事業では引き続き小山田線及び須崎・中福良線の改良と口ノ町・湯之谷線の歩道設置並びに竹下橋の改築を施行してまいりますとともに、本年度から新規事業といたしまして小山田線の特殊改良一種事業及び中野線の特殊改良二種事業並びに仮屋馬場通線の歩道設置をしてまいります。

この小山田線の特殊改良一種事業でございますが、現在、この事業で須崎・中福良線の改良を進めておりますが、従来一町に一線の採択しかありませんが、町長と語る会などの席上、小山田線の付近住民のかたがたから早く完了するようにとの強い要望もあり、また途中、児童の通学に危険か所等もありますことから、県・国に強く要望をいたしましたところ、特別に採択していただくことに決定いたしたしだいでございます。

臨時地方道整備事業では湯之谷、菖蒲谷線などの舗装工事を施行することといたしまして、単独事業といたしまして、赤谷線ほかの改良工事、その他町内一円の舗装及び側溝の整備等を進めてまいります。

また、準用河川改修事業では、引き続き塩入川の改修を進め、港湾整備といたしまして、加治木港の改修を推進してまいります。

働く場

町の新しい特産品・キャロットジャム

農産物の加工施設を建設

大綱の第二点であります「働く場」を充実するために、農林水産業の生産基盤の整備及び商工業の活性化など、人口三万人を目指して活気ある地域づくりを進めてまいります。

第一に農業生産基盤の整備促進でございます。

我が国の農業・農村を取り巻く情勢は、年を追うごとに一段とその厳しさを増してまいりました。

農産物・畜産物・食料品などの輸入自由化やあるいは輸入枠の拡大、需給の不均衡による生産調整など、国際化社会における競争は今後なおいっそう激化されるものと思われます。

国内農業におきましても、産地間競争は生き残るための産地としてのいっそうの厳しさが加わるものと考えられます。

また、農畜産物の価格低迷、農業従事者の高齢化及び婦女子化、後継者不足など、幾多の問題点がありまして、消費者のし好も多様化し、少量・多品目など高級化の方向に進んでおります。良い商品は少々高くても売れ、悪い商品は安くても売れない社会になるものと思われます。

このような厳しい状況と目まぐるしい情勢の展開に的確に対処していくためには、行政、農業団体、生産者が一体となりまして、土地基盤の整備、農地流動化による経営規模の拡大並びに農用施設等の共同利用など強力に推進し、産業としての農業経営を確立し、自立自興の気持ちを強く自覚して、生産コスト低減や安全性の高い食糧生産に努め、国際化社会の競争に耐えうる足腰の強い農業の確立と本町農業の発展と農家所得の向上に努めてまいります。

ほ場整備を推進

昭和六十二年度から新しくスタートいたしました水田農業確立対策事業も本年度で前期対策の最終年度を迎えることになりましたが国では昭和六十三年産の米の作柄は平年作を下回る見込みとなっているものの、持ち越し在庫水準が依然として高く、消費減退傾向も続いているところから、今後とも米の需給調整は必要とされております。平成元年度においても引き続き水田農業確立対策を実施するほか、米需給均衡化緊急化対策事業も地域ごとの創意工夫をいたして推進してまいりましたが、そのためには農家の御理解と御協力なくしては不可能でございますので生産者団体とも連携を密にして対処いたしてまいります。

また、土地利用型農業経営規模拡大促進事業など、農地流動化促進、農地銀行活動等を推進することによりまして、農用地の確保及び高度利用、経営規模の拡大、地域農業集団の育成強化を更に推進

毎日開催される町畜産品評会

稚貝を放流

してまいります。

また、本年度の主な事業は、農村地域農業構造改善事業のうち、農業近代化施設事業でもって農産物処理加工施設を建設をいたします。これは、近年の自然食品志向、手作り品が好まれる、また、健康食品ブームによりまして、本町の生活改善グループが苦心の末開発をいたしましたキャロットジャム、キャロットピクルスが大変好評を博しまして、商品化のめどが立ちましたので、それに昨年六月、農産加工グループ約二十五名をもってこれも結成できましたので、地域内の農産物を一次加工し付加価値を高め、農家の所得向上を図ってまいりますとともに、本町の特産物としても位置づけたいと考えております。

安くてうまい肉を

第二に畜産の振興でございます。

御承知のとおり、外国からの自由化要求、国内から消費者の「安くてうまい肉」を求める声などが大変高まってきております。

国際化のとうとうたる流れの中で、昨年六月、日米間の牛肉・オレンジ交渉が決着をいたしまして平成三年度から輸入牛肉の輸入の自由化が決定いたしましたし、先行き不安はございますが、なんといたしましても畜産は本町農業生産の基幹作目の一つでもございますので、畜産経営技術改善活動推進事業等を積極的に導入いたしまして、低コストで高品質の生産が推進されるよう、国・県の制度もじゅうぶんに活用して畜産振興に力を入れてまいります。

林業振興計画を基本方針に

第三が林業の振興についてでございますが、昭和六十三年度の林業振興地域の指定を受け、これに基づいて計画樹立も作成いたしましたので、これを基本方針といたしまして、いろいろの事業の導入を図ってまいります。

平成元年度は、従来実施してまいりました継続事業、県費単独治山事業、特用樹林造成事業等のほかに本町特有の市街地近郊森林、町民憩いの森として活用するため県営事業としての多目的保安林の整備事業を二か年で約一億円の事業導入が実現できる見込みでございますので、精力的に努力をしてまいります。

また、新林業構造改善事業も五億四千万円の事業も実現に向けて県・国に最大限の努力をしてまいります。

つくり育てる漁業を

第四に水産業の振興でございます。

鹿児島湾奥の漁業振興につきましては、本年度も錦海漁協におけるアサリ等の稚貝、マダイの放流を実施いたしまして、つくり育てる漁業を推進してまいります。

昨年度実施しました人工魚礁の追跡調査などをじゅうぶん分析いたしまして、今後の水産振興の指針としたいと存じます。

また、網掛川漁協におきましても、アユ・コイ・うなぎの放流を引き続き行い、繁殖保護に努めてまいります。

そのほか、たけのこ・みそ・しょうゆ・こんにゃく・からいもなどを製造いたしまして、農業の活性化を推進してまいります。

県単土地改良事業のかんがい排水事業といたしまして、高井田地区・城地区、農道舗装といたしまして市来原地区・前畠地区、農道整備事業といたしまして井手向地区を実施することとし、県営ほ場整備事業では西別府地区のほ場整備、農村基盤総合整備事業では伊部野集落道・東川内農道新設・小山田中田用水路の整備のほか、町単土地改良事業なども進めてまいります。

事業の円滑な推進につきましては、関係機関団体や地域のかたがたの御理解や御協力を得ながら実施してまいります。

商工業者の安定的な経営を促進

第五に商工業の振興についてでございます。

商工業の進展の根幹は、なによりも町民所得の向上と魅力あるまちづくりにあると存じますが、隣接町に大型店舗等の進出で、本町を取り巻く環境も大変厳しい状況となっておりますので、商工会をはじめ関係機関団体ともじゅうぶんに連携を保ちながら、商工業者の安定的な経営を促進するための施策を進めてまいります。

商工会におかれましても、本町商工業発展のため各種の事業を実施され、真剣に取り組んでおられるところでございますが、本年度は商店街の商業診断等も実施されることとなっておりますので、町といたしましても積極的に御協力をしてまいりますと同時に、町民各位の御提言等もいただきながら活力ある魅力ある近代的な商店街まちづくりにいっそう努力してまいりたいと存じます。

展望所の防護さくの取り替えを実施

第六に観光事業についてでございますが、本年度も龍門滝周辺の整備として、展望所の防護さくの取替工事等を計画的に進めてまいります。

また、観光協会では、本町の名物行事を取り入れたテレホンカードの作成も実施する予定でございまして、各種のイベントの盛大な実施と併せ、町内外から多くの人人が本町に訪れていただきますよう、いっそうの宣伝・普及に努力をしてまいります。

水と緑

公園の整備を促進

大綱の第三点でございますが、豊かな自然をはぐくむ「水と緑」の充実を図る公園の整備促進でございますが、恵まれた自然と交通の利便性を生かし、名勝地と名高い龍門滝や、その周辺地域、また憩いの場として活用される高岡公園をはじめ、これらの周辺を今後も整備することで、町内はもとより広く町外からも親しまれる公園づくりなど、幅広い分野にわたり水と緑を生かした計画を継続してまいります。

長年の懸案でありましたが、泉源掘削事業も去る十二月三日現在で試掘の結果、五十五度のゆう出量で、日量百八十トンもみることができましたので、この結果を待ちまして、いろいろな施策をやっていきたいと思っております。

町営温泉を含めまして、龍門滝周辺の整備、更には宇曽ノ木渓谷、高岡公園までを含めた整備を県・国の事業を導入すべく努力をいたして整備を進めてまいります。

また、都市公園では現在の都市公園の管理委託のほか、港町失業対策事業詰所跡地の公園整備、更には千鳥橋北側の宇曽ノ木川沿いに仮称千鳥公園の整備を進めてまいります。

教育と文化

建て替えられる永原小の木造校舎

教育的風土を生かして

大綱の第四点でございます「教育と文化」について申し上げます。

第一に、めまぐるしく変ぼうします現代社会の中で、郷土の持つ輝かしい歴史と伝統に立った教育的風土を生かした豊かな人間形成を目指して、すべての町民が心身ともに健康で人間性豊かで強い意志と創造性を持って社会の進展に寄与するような教育と文化・スポーツの振興に努力をしてまいります。

危険校舎を改築

第二に学校教育の充実でございます。

教育環境のいっそうの整備充実に努め、就園・就学・育英奨学資金など、できるかぎりの配慮をし一方、学校教育での教師の資質の向上や生徒の学力向上、生徒指導に努力をいたしてまいります。

永原小学校の危険校舎を改築し普通教室二、特別教室二を建築いたしまして、施設整備を図ってまいります。

加治木中学校生徒の部活動に必要な部室を十部室建築することにいたしました。

このほか、加治木幼稚園・錦江小学校の施設の整備を図ってまいります。

郷土教育の充実を

第三に社会教育の振興でございます。

社会教育においては「心豊かな地域づくりと人情味ある人づくり」を目指し、高齢化社会の到来に備えながら、21世紀を担う青少年の健全育成を図っていくことを目標に、各種の運動を進めてまいります。

そのためには、町民みんながお互いに気軽にあいさつできる「一声運動」を進め、併せて地域住民の連帯意識と協調性ある行動づくり及びボランティア精神の養成に努めてまいります。

また、高齢化社会に対応できる生涯学習の推進のため、社会教育学級をはじめ、公民館講座等を開設し、学習機会の拡充に努め、ニューメディアに対応できる視聴覚教育の推進を図ってまいります。

文化活動においては、つくる文化活動と心のゆとりある活動を進め、文化財の保護、活用など郷土教育の充実に努力し、町民が町民憲章の下自立自興を目指し、地域の教育力を高め、住みよい地域づくり、まちづくりを進める社会教育・公民館活動への推進に努力をしてまいります。

次に、仮称椋鳩十文学記念館建設につきましては、本年度で設計委託をいたしているところでございますが、全国各地から期待の込められた投稿をいただいておるところでございます。

次代を担う青少年のためにも立派な記念館・読書館を建設に努力してまいります。

中央公民館建設につきましては加治木町中央公民館建設推進委員会内部委員会で検討させてまいりましたが、このほど中間報告をいただきましたが、この問題は大変難しい問題でもございますので、引き続き検討をしてまいります。

健康福祉

望岳園を活用しディサービスを

保健センター

ディサービス事業を実施

大綱の第五点でございますが、健やかな身体と心を育て、お年寄りや体の不自由なかたがたに対する「健康福祉」の充実について申し上げます。

その第一、社会福祉の目的は、すべてのかたがたが安定した生きがいのある生活を高める社会の実現にあると思っております。

我が国の社会保障制度は、所得保障制度・医療保障制度・社会福祉制度など時代の要請を受けながら整備され、国民生活の安定向上に大きな役割を果たしております。

一方、高齢化社会の到来、核家族化の進行、住民意識の変化など、社会情勢の変動によりまして、地域社会の相互扶助機能や家庭機能が低下し、福祉サービスの需要は質的に変化し、量的にも増大を来しております。特に本町は、全国平均より高齢化が進行していることや、ひとり暮らしの老人所帯が多くなっていることなどから福祉需要はますます増大し、また多様化する傾向にございます。

このような情勢に対応し、本町といたしましては、高齢者・障害者・母子寡婦・父子家庭など社会的に弱い立場にある人々が地域住民の助け合いの心と連帯意識に支えられながら、安らぎと生きがいをもって生活できる、ぬくもりに満ちた住みよい環境づくりに取り組んでまいりたいと存じます。

本年度の主な事業といたしましては、高齢者の生活を高めるため温泉保養券、はり・きゅう券の発行と、新規事業といたしまして、ディサービス事業として特別養護老人ホーム加治木望岳園内にディサービスセンターを設置して、地区別に虚弱老人をリフトバスでセンターに送迎して、給食サービス、入浴サービス、機能回復訓練等を行う事業、また独居老人で虚弱なかたにボタンを押すだけで自分の異変を伝えられる緊急通報システムも併せて実施してまいります。

そのほか各スポーツ大会・福祉大会を開催し、福祉の向上に努めてまいります。

保健センターを活用し食生活の改善を図る

第二に保健衛生の充実についてでございますが、健康はなによりも勝る財産でございますが、我が国は医療・医学の進歩と同時に、国民の健康に対する関心が高まってまいりまして、人生八十年時代と高齢化社会になってまいりますことは御承知のとおりでございます。

健康づくりは胎児・子供のときから始まるとも言われておりますので、各種の検診、予防事業など町民が健康で生きがいをもって生活ができる住みよい環境をつくることが最も重要なことであると考えまして保健事業の推進に努力をしているところでございます。

更に、平成元年度も町民の健康づくりを目指して、乳幼児から高齢者まで各種の検診・予防・健康相談・訪問指導など保健事業の推進と、健康づくり審議会をはじめ医師会・関係行政機関諸団体ともじゅうぶん連携を密にしながら、健全な町民生活が実現されますように更に努力をしてまいります。

そしてまた、健康は食生活と運動からとも言われておりますので近年豊かな社会となり、食品も多種、多様化して販売されておりますが、住民の食生活改善と運動など、思想の高揚と啓発をいっそう図ってまいりますと同時に、その拠点として保健センターの活用を更に充実してまいります。

軽スポーツの普及を

また、じんかい処理事業につきましては、年々増加します不燃物・可燃物の減量化、収集ステーションの環境整備、最終処分場の管理等に努力してまいります。

スポーツ人口の底辺拡大を図る

第三に体育の振興についてでございますが、体育の振興については、スポーツを通じて健康で明るく豊かな人間性を備えた町民の育成を図るために、施設の整備充実、指導態勢の整備、スポーツ人口の底辺拡大を図るための体育行事の振興、学校保健体育の充実並びにスポーツ事故の防止に努めてまいります。

住環境

岩原住宅の建て替えを実施

大綱の第六点でございますが、文化的な居住都市づくり「住環境」の整備促進についてでありますが文化的な居住都市づくりのために公営住宅の建替事業及び県営による中高層住宅の建設等を行い、都市と自然が調和した、住みよいまちづくりを推進してまいります。

第一に公営住宅の建て替えにつきましては、岩原住宅の入居者の同意が得られましたので、平成二年度にかけて一種中耐の十二戸と二種中耐二十四戸と公園などを整備することに努めてまいります。

第二に上水道につきましては、漏水対策、水質監視の強化に重点を置きながら、とりわけ既存施設の手直し、特に管路の更新をなすべきであると考えまして昭和六十三年度から三か年計画で石綿管の敷設替えを実施してまいります。

水道事業の基本理念でございます清浄にしておいしい水の安定供給に努めてまいりたいと思っております。

第三に母子寮建設につきましては、県や国の動向を考慮しながら整備を図ってまいることにいたしました。

建て替えられる岩原住宅

安全衛生

交通安全教室を開催

交通安全思想の普及を

大綱七点でございますが、安心して住めるきれいな町をつくる「安全衛生」の整備でございます。

第一に簡易水道についてでございます。

長年の懸案でございました上場東地区の水源の確保につきましては、溝辺町長さんをはじめ、たくさんのかたがたの御協力、御援助をいただきまして、水源の確保ができましたので、昭和六十三年度で調査実施設計が完了をいたしました。平成元年度から二か年で施行をしてまいりまして、平成二年度の後半には水の供給ができるように努力をしてまいります。

第二に、交通安全対策の問題でございますが、本町は交通の要所にありまして、これまで交通安全の確保につきましては歩道の設置をはじめガードレール、カーブミラー等の安全施設の整備を促進するとともに交通安全教室の開催等に取り組んでまいりましたが、今後とも関係機関団体の協力によりまして、交通安全思想の普及及び徹底を図ってまいります。

第三に消防防災についてでございます。

町民の生命、財産を火災あるいは地震・水害等から守ることは、これは行政として大きな役割のひとつでもございます。消防自動車、消防水利施設の整備を年次ごとに図る一方、消防団員の訓練等に配慮いたしますとともに、防災対策についても所要の措置を講ずるなど、町民の生活安定、生命・財産の保全に努力する所存でございます。

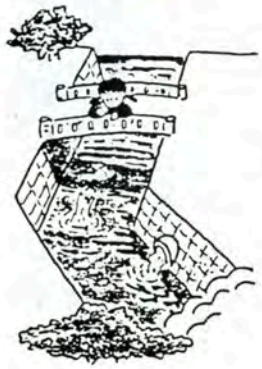
下水道事業を推進

第四に下水道の整備についてでございます。

下水道整備につきましては、健康で快適な日常生活を営むための環境づくりとして不可決なことは御承知のとおりでございます。

姶良・加治木両町協議会で基本計画書を作成し、今後事業の推進を図ってまいります。

第五に、そのほか安全衛生の主な事業といたしましては、特定交通安全施設の整備事業で口ノ町・湯之谷線あるいは吉原線の歩道の設置、団体営シラス対策事業で小山田柿ノ木田地区及び県営シラス対策事業で永原地区の集水路、排水路の整備事業を図ることにいたし、また、海岸保全施設整備事業で木田振興地区、黒川地区をそれぞれ県単事業で推進してまいります。



行財政

創造的な行政の推進を

大綱の第八「行財政」推進でございます。

鹿児島県広域市町村圏協議会における事業推進を図るとともに、姶良西部地区の西部衛生処理組合及び西部消防組合のよりいっそうの充実、推進を図ってまいります。

また、従来の機能を上回る電算機を導入することによりまして、事務の簡素化を図り、創造的な行政の推進を推し進め、そしてまた庁舎の空調設備を完備し、庁舎内の環境整備をいたしまして住民サービスに徹底した行政を推進してまいります。

次に、行政の運営に当たりましては、行財政の適切かつ効率的な運営を図ることはもとより、行政改革のいっそうの推進に努めてまいりますと同時に、職員の人事管理につきましても、町民の負託にこたえるために法令・条例・規則等に照らしながら、厳正に対処してまいります。

四十六億一千四百万円 町の一般会計予算

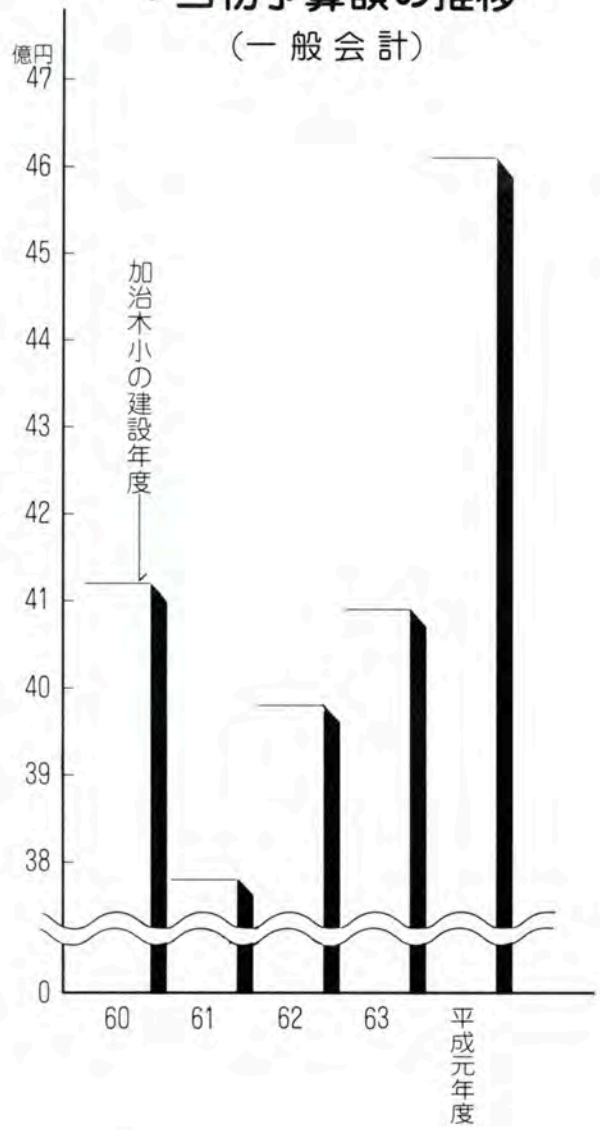
平成元年度

以上、町政推進に当たっての主な施策について所信の一端を申し述べましたが、平成元年度の一般会計予算は四十六億一千四百万円でございます。

前にも申し上げましたように、厳しい財政事情の中ではございますが、町民に信頼される高潔・公正な町政の下、心豊かな活力あるまちづくりのために、こん身の力を振り絞ってまい進する決意でございます。

議会の皆様がたをはじめ、町民各位の御理解と絶大な御協力をお願い申し上げるしだいでございます。

▼当初予算額の推移（一般会計）



▽特別会計予算

事業名	平成元年度	昭和63年度	比較
国民健康保険事業	12億2,201万5千円	12億3,062万円	−860万5千円
簡易水道事業	2億2,316万8千円	1,107万9千円	2億1,208万9千円
地域下水処理事業	2,955万3千円	2,687万4千円	267万9千円
老人保健医療事業	11億9,194万5千円	12億7,369万1千円	−8,174万6千円
農林業労働者災害共済事業	156万4千円	156万7千円	−3千円

▽水道事業会計予算（平成元年度）

●損益勘定●

水道事業収益　2億8,938万5千円

水道事業費用　2億7,953万1千円

■資本勘定■

資本的収入　1億1,106万5千円

資本的支出　1億6,683万6千円

▶主な事業◀

- アスベスト管の敷設替え　6,390m
- 消火栓の新設　5基（予定）
- 取水井　1本

〔給水戸数〕8,320戸（業務の予定量）

〔年間総給水量〕2,510,000㎥

〔1日平均給水量〕6,800㎥

平成元年度・主な事業と予算（一般会計）

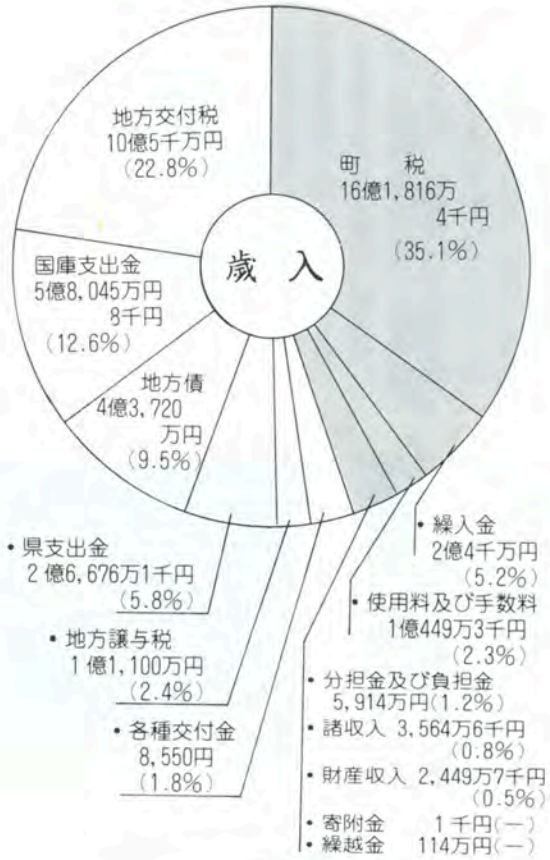
議会費 〔1億430万3千円〕	2.3%	〔議会活動に必要な経費〕
総務費 〔6億1,470万8千円〕	13.3%	〔広報かじきの印刷費〕〔**庁舎の空調設備工事**〕〔**電算機導入**〕〔交通安全対策費〕〔参議院議員選挙費〕〔統計調査費〕ほか
民生費 〔3億9,509万5千円〕	8.6%	〔社会福祉大会〕〔敬老金〕〔**ディサービス事業**〕〔保育所運営費〕ほか
衛生費 〔3億5,706万8千円〕	7.7%	〔予防費〕〔公衆浴場費〕〔健康づくり推進費〕〔じんかい処理費〕ほか
労働費 〔1,567万1千円〕	0.3%	〔失業対策事業費〕ほか
農林水産業費 〔4億9,638万6千円〕	10.8%	〔農業振興費〕〔畜産業費〕〔ふれあい農業〕〔土地改良事業費（農道整備，かんがい排水事業ほか）〕〔**農産物処理加工施設の建設**〕〔農地保全整備費（柿ノ木田地区ほか）〕〔林業振興費（林道舗装ほか）〕〔水産業費〕ほか
商工費 〔2,814万5千円〕	0.6%	〔商工会育成補助〕〔龍門滝の防護柵〕ほか
土木費 〔11億6,784万3千円〕	25.3%	〔道路補修費〕〔歩道設置工事（口ノ町・湯ノ谷線ほか）〕〔道路改良事業（小山田線ほか）〕〔橋りょう新設改良費（竹下橋ほか）〕〔街路事業（木田本通線ほか）〕〔**公園整備費（港町公園の整備ほか）**〕〔**公営住宅建設費（岩原住宅）**〕ほか
消防費 〔2億753万4千円〕	4.5%	〔防火水槽〕〔消防ポンプ自動車買替（中央分団）〕〔水防費〕ほか
教育費 〔7億5,583万2千円〕	16.4%	〔育英奨学資金〕〔**学校建設費（永原小学校の危険校舎の改築）**〕〔部室建設（加治木中学校）〕〔社会教育学級の開設〕〔郷土郷能の保存継承〕〔**仮称椋鳩十文学記念館の建設**〕〔軽スポーツの普及〕〔学校保健費〕〔共同調理場費〕ほか
災害復旧費 〔107万5千円〕	0.0%	〔現年災害復旧費〕〔農業用施設災害復旧費〕
公債費 〔4億6,433万8千円〕	10.1%	〔元金，利子〕

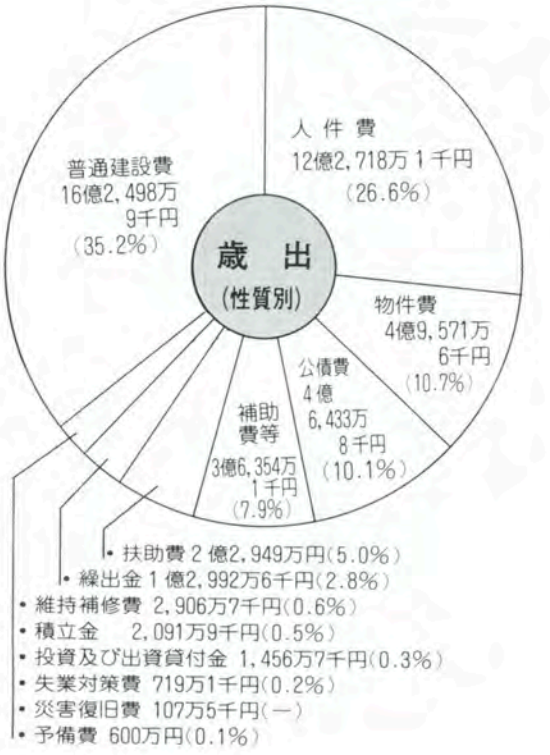
※グラフは「予算に占める割合」を示す。

心豊かな活力ある町づくりを

一般会計予算の構成

自主財源（45.1%）
依存財源（54.9%）





町長と語る会

まちづくりのこと、暮らしのこと 町長とひざを交じえて話しました。

町民とのソフトな対話を進め〝お互いの知恵を出し合い、魅力ある町づくりを〟と「町長と語る会」が、七月五日から地区公民館単位で開催されました。

語る会では、河川の改修のことや道路のこと、福祉や教育の問題、まちづくりのことなどたくさんの御意見や御要望をいただきました。

今月は、錦江第一地区（十一月十二日）で出された皆さんの声の中から、主なものをお伝えします。

道路・川など

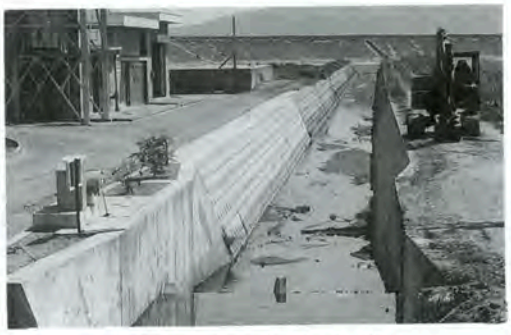
改修工事の計画は 塩入川

塩入川の河川改修工事を実施されていますが、今後の計画はどうなっているのでしょうか。

＊　＊　＊

この事業は、塩入川のうち、河口から町道塩入線入部橋までの区間七百三十五㍍の改修を行うもので、五十七年度から事業に着手し、六十三年度末で河口から二百二十七㍍の護岸が完了しました。

今後予定される事業の概要は、護岸改修工事五百八㍍、二つの橋のかけかえ、転倒堰一か所の設置及び公民館の移転などであり、国の予算配分が決まりしだい、関係のかたがたと御相談してまいりたいと考えます。



改修が進む塩入川

全面通行止めには 町道向江町後線

網掛川沿いの町道の入口が改修され見やすくなりました。

現在、朝のみ「一方通行」の規制が行われていますが、「全面通行止め」にはできませんか。

＊　＊　＊

「向江町後線」の錦江橋以西部分については、通勤時間帯の円滑な車の流れの維持、中学生の通学路の安全確保及び交通事故防止などのため、その南側の「向江町二号線」と併行して昭和五十五年から午前七時から午前八時三十分まで「一方通行」の規制が実施されてまいりました。

その後、中学校の統合や仮屋馬場通線の開通などにより、規制実施時期と比べると通学する生徒や通行車両共にやや減少しているものと思われます。

「車両全面通行止め」を実施した場合は、車は向江町二号線に集中する恐れがあり、交通安全上大きな支障をきたすことにもなりかねません。

現状維持が望ましいものと考えます。

私道を町道にはできませんか

錦江小学校の裏や墓地の所に私道があり、人通りも多いのですが町道にはできないのでしょうか。

＊　＊　＊

町道に認定するには、認定基準があり、それが満たされれば私道を町道にすることができます。

◇　◇　◇

〔町道認定基準〕

▽路線が系統的で、交通上重要な道路であること。

▽道路の幅員は、原則として四㍍以上とする。

▽道路境界が明確であること。

▽道路占用物件や工作物は、道路交通に支障がないこと……など。

「町長と語る会」地区別開催状況

参集地区	月　日	会　場	参加人員
錦江第1地区	11月12日	塩入公民館	39人

※参加人員には，町関係者は含みません。

町づくりなど

大字界の変更は

この地区には、錦江町、木田、反土があって、境界がはっきりしていません。
大字界の変更はできませんか。

＊　＊　＊

御質問の地区は、昔の網掛川の流れが現在のように変わったため生じているものであり、大字木田と大字反土の区域を「網掛川」で分けるのが最良の方策と考えますが、問題点もございます。

反土地区を木田へ編入するとなると、大字名だけを反土から木田へと替えるだけではすまず、個々人の所有地の地番までも変更する必要が生じてまいります。

また、大字変更後、本人が行う諸手続き、届出が必要となります。

いずれにいたしましても、長年使いなれた地名及び地番を変更することになれば、自治会や地権者などの同意を得ることが先決で、大字界変更につきましては、地域住民への説明会やアンケート調査などを行い、住民の意向を把握するなど慎重に取り組む必要があり今後、関係の自治会長さん方等と十分協議をしてまいりたいと考えます。

福祉など

老人給食をふやして

老人給食の申し込みをしましたが認められませんでした。
予算が少ないのではないでしょうか。来年はぜひ入れて欲しい。

＊　＊　＊

老人給食は、ボランティアのかたがたにお願いしており、予算だけつけても無理があります。

新年度からはディサービスも取り入れたいと考えており、除々に解決していきたいと思います。

“おいしい”老人給食

教育など

施設の充実を

町立図書館

町立図書館をよく利用していますが、冬は寒くて困っています。施設を充実する考えはありませんか。

＊　＊　＊

図書館は、作り変える時期に来ていると思います。十二月議会に「仮称椋鳩十記念館」の設計委託料を出す予定ですが、親子読書館も作りますので、ぜひ、御活用をお願いいたします。

役場職員の異動

四月一日付

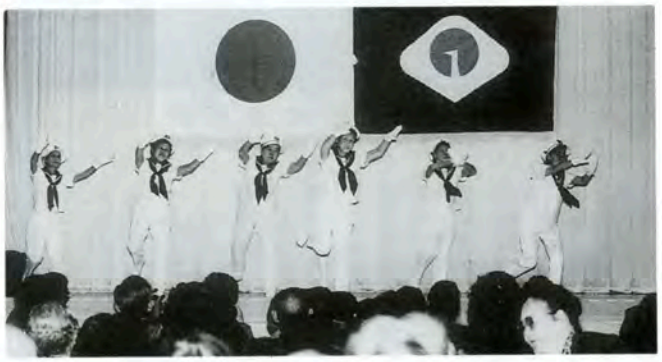
（　）内は旧課

工事監査課長兼工事監査監（都市計画課長）森木幸雄▽教育委員会総務課長（経済課長兼農業委員会事務局長）堀切　薫▽農業委員会事務局長（教育委員会庶務課長）山口正春▽学校給食共同調理場長（体育保健課長）坂部　毅▽福祉課参事（学校給食共同調理場長）竪山裕生▽経済課長（経済課参事兼補佐兼林務係長）瀬戸口　悟▽都市計画課長（都市計画課参事）荒川　学▽体育保健課長（教育委員会庶務課長補佐兼庶務係長）杉田淳平▽図書館長（福祉課長補佐兼児童係長）伊丹正登▽教育委員会総務課長補佐兼管理係長（都市計画課長補佐兼建築係長）内村　孝▽教育委員会総務課長補佐兼庶務係長（住民課長補佐兼記録係長）水流清子▽総務課長補佐兼人事係長（総務課長補佐兼人事係長兼庶務係長）白尾親昭▽経済課長補佐兼林務係長（企画課長補佐兼用地係長）上村正和▽税務課長補佐兼課税第二係長（税務課長補佐兼課税第一係長兼課税第二係長）神田哲夫▽総務課長補佐兼財政係長（総務課財政係長）冨永貞義▽企画課長補佐兼企画係長（企画課企画係長）本村利和▽住民課長補佐兼記録係長兼窓口係長（福祉課福祉係長）若松敏弘▽都市計画課長補佐兼建築係長（経済課農業構造改善係長）小城輝夫▽福祉課長補佐兼児童係長兼福祉係長（経済課畜産係長）福森徳昭▽工事監査課契約係長兼工事検査係長（総務課管財係長）寺師秀孝▽経済課農業振興係長（農業委員会農地係長）泉　宣和▽経済課農業構造改善係長（耕地課工事係長）稲留義貢▽農業委員会農地係長（経済課農業振興係長）久木元　勉▽税務課課税第一係長（姶良地区滞納整理組合）湯川忠治▽総務課庶務係長兼管財係長（総務課）岩澤健一▽税務課庶務係長（農業委員会）穂満利行▽経済課畜産係長（土木課）楠元健一▽都市計画課住宅係長（総務課）薗田英実▽耕地課工事係長（耕地課）古江弘美▽企画課用地係長（経済課）小野田健一▽保健衛生課保健婦長（保健衛生課保健婦）新納徳子▽議会事務局（教育委員会庶務課）神田あけみ▽総務課（保健衛生課）高山八大▽企画課（税務課）仮屋隆夫▽企画課（教育委員会庶務課）竹下弘▽収入役室（福祉課）米沢照美▽住民課（議会事務局）松元月代▽住民課（体育保健課）西猛志▽住民課（企画課）郡山秀樹▽税務課（福祉課）安藤政司▽税務課（都市計画課）草水博行▽税務課（社会教育課）福森光枝▽税務課（住民課）川村芳郎▽税務課（住民課）岩澤良子▽経済課（税務課）水流哲也▽経済課（住民課）藤野洋一郎▽農業委員会（税務課）古江澄男▽都市計画課（土木課）武田俊郎▽都市計画課（経済課）脇田満穂▽都市計画課（総務課）前田克幸▽土木課（耕地課）竹下健二▽耕地課（住民課）頴川浩一▽福祉課（税務課）犬童　久▽福祉課（税務課）池田厚子▽福祉課（総務課）有川麗子▽福祉課（税務課）高橋昭弘▽福祉課（学校給食共同調理場）橋木普子▽水道課（保健衛生課）宮田昭二▽教育委員会総務課（収入役室）永井京子▽社会教育課（福祉課）三村やよい▽学校給食共同調理場（総務課）西森時雄▽学校給食共同調理場（福祉課）渡辺素子▽耕地課（土木課）増田明

■新規採用…（　）内は配属課

川島泰代（総務課）
壱岐昌弘（企画課）
藤崎謙二（税務課）
石原冬記（保健衛生課）
宝蔵加代子（収入役室）
北野靖住（体育保健課）

まちのわだい



かわいいセーラー服の踊りも

●第11回町老人芸能大会（３月24日）

老人クラブの会員が日ごろ練習を積んできた踊りや歌などを披露する第11回町老人芸能大会が３月24日，福祉センターで開催され，おおぜいの人でにぎわいました。

大会では，下新道の猪目シヅエさんら８人が“かわいい”セーラー服を着て踊る「カモメの水兵さん」や，弥勒の瀬戸口三夫さんらによる寸劇「知覧ゴゼ」など25の演芸が次々に披露され、大きな拍手が沸いていました。

第１便１２３個を発送

●加治木町ふるさと便友の会（３月14日）

なつかしいふるさとの味と香りを届ける“加治木町ふるさと便”の第１便123個が，３月14日発送されました。

この日は，友の会の宇都宮会長をはじめ町議会議長，農協・漁協・商工会の代表，郵便局長など関係者が集まり出発式が行われた後，加治木まんじゅうやトマト，あじの干物，あく巻きなど町の特産品をつめた小包が次々と車に乗せられ，東京や大阪などの会員へ送られました。

林業経営の部で優良賞に輝く

●新　實行さん（永原）

永原の新實行さんが「林業経営の部」で“優良賞”に輝き，２月10日鹿児島市で開催された県林業振興大会の席上，大会会長（知事）から表彰を受けました。

これは，規模拡大を図るなど昭和43年から林業経営に取り組んでこられた功績が高く評価されたものです。

新さんは「夏場の下払いの作業は大変ですが，これからも規模拡大を図りたい」と話されました。

柁城小学校が優秀校に

●姶良地区植樹祭（２月21日）

学校ぐるみで緑化活動を進めている柁城小学校が，学校環境緑化コンクールの部で優秀校に選ばれました。

これは，５～６年生35人で作っている栽培委員会（池上薫会長）を中心に，学校内の緑化に取り組んでいる功績が高く評価されたもので，２月21日国分市で開催された姶良地区植樹祭の席上，県緑化推進委員会姶良支部長賞と姶良地区林業振興協議会長賞が贈られました。

まちのわだい

身近かなニュースや話題をお知らせ下さい。（☎62―2111）総務課文書係

卒業30周年の記念に母校へ寄付

●昭和34年の卒業生（3月7日）

加治木中学校を昭和34年に卒業したかたがたが「卒業30周年の記念に」と母校に現金10万円を寄贈されました。

これは，今年正月に開催した同窓会の参加者などから寄せられたお金を贈ったもので，3月7日代表の上荒磯幸敏さんら4人が母校を訪れ，清水校長に手渡しました。

清水校長は「後輩の子供たちの学習のために図書を購入したいと思います」とお礼の言葉を述べました。

音楽を通じて交流を深める

●加治木工業・加治木養護学校（3月6日）

“お互いを知り合おう”と今年も加治木工業高校のブラスバンド部員など20人余りが3月6日，加治木養護学校を訪れ，音楽を通じて交流を深めました。

この日は，ブラスバンド部員と養護学校の高等部の生徒が練習を積んできたすばらしい演奏を披露。また，加治木工業の母親代表・小野キミエさんが，新入生の父母から寄せられた献金の一部を養護学校に贈りました。

教材にと“水車”を復元

●服部治男さんが加治木小に寄贈（3月10日）

「子供たちのお役に立てば」と新中の服部治男さんが加治木小学校に寄贈された“水車”が3月10日，米留先生の手によって復元され，校舎の入口に飾られました。

水車は，服部さんがたんぼに水を取り入れるため自分で作られた直径180㌢余りの立派なもので，加治木小学校では，ＪＲから譲り受けた枕木を使って回るように復元。子供たちの教材として活用することにしています。

学歴社会から学習歴社会へ

●町社会教育・健康づくり推進大会（3月9日）

町社会教育・健康づくり推進大会が3月9日，600人余りが参加して福祉センターで開催されました。

大会では，向江町自治会の活動やジョギングによって成人病を克服された大浜政徳さんの体験発表などが行われた後，元中学校長の木戸孝先生が「これからは学歴社会から学習歴社会へ変わり，何を知っているかでなく，何が出来るかの時代です」などと講演しました。

熱戦スポーツニュース

春を満喫

ポイントを探して

雲水峡や竜門司坂を散策

町オリエンテーリング大会

コンパスを正しく使って地図を正確に読み、五つのポイントを回る「町オリエンテーリング大会」が三月十四日、親子連れなど百十八人が参加して開催されました。

今年の大会は〝町の良さを見直そう〟と、竜門小学校を九時にスタートし、龍門滝や雲水峡、竜門司坂などを回る約五キロのコースで行われ、参加者は途中の風景を楽しみながらポイントを回り、春の一日を満喫していました。

結果は、次のとおりです。

■小学生の部

優勝…森木義隆、義弘、堂免　功（二時間十分七秒）

二位…松村いずみ、岩切江利子

犬童陽子、池増綾子

三位…橘園宏美、黒木絢子

山口真希

■親子の部

優勝…古寺広志、大悟、美鈴（二時間十二分五秒）

二位…宮内信行、久美子、智也

三位…三村やよい、暁乃、綾

家庭婦人は今園チーム

町内卓球大会

町内卓球大会は三月十九日、町体育館で開催され、家庭婦人の部では今園チームが優勝しました。

結果は、次のとおりです。

〔団体戦A級〕

優勝…加治木土木事務所

二位…加治木クラブ

三位…加治木工業・新生町クラブ

〔団体戦B級（男女混成）〕

優勝…町卓球同好会女子

二位…加治木高校女子

三位…町婦人卓球クラブ

〃…加治木中C

〔団体戦（家庭婦人）〕

優勝…今園チーム

二位…浜田チーム

三位…枝次チーム・安田チーム

〔個人戦〕

優勝…西村勝利（加工）

二位…上妻健一（加治木養護）

三位…述（鹿相信）・前田（加工）

練習の成果を発揮

竜門Aが優勝

福祉グラウンド・ゴルフ大会

身体障害者のかたがたにもっとスポーツに親しんでもらおうと三月十二日、第二回福祉グラウンドゴルフ大会が町営運動場で開催され、十七チームが参加しました。

結果は、次のとおりです。

〔団体の部〕優勝…竜門A

二位…高井田▽三位…竜門B

〔個人の部〕優勝…荻迫克幸

二位…犬童春美▽三位…川原芳隆

入るかな…

加治木Aは決勝進出ならず

姶良伊佐地区ゲートボール大会

姶良伊佐地区身体障害者福祉協議会・ゲートボール大会は四月六日、十一の町から選ばれた百人余りの選手が参加して役場グラウンドで開催されました。

加治木町からは児玉実憲・町身体障害者福祉協議会長をはじめ二チーム・十人が参加。Aチームが決勝トーナメントに進んだものの福山町に敗れ、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

優勝は、隼人Cチームでした。

しっかりねらって…

柳田千年会が事例発表

高齢者の社会参加促進大会

高齢者の生きがいを高め、老人クラブ活動の活性化を図ろうと、高齢者の社会参加促進大会が三月一日、福祉センターで開催されました。

大会では、柳田千年会の小野良光会長が「小学校、自治会、育成会との連携を密にし取り組んできた夏祭りや十五夜などの行事、野太刀自顕流や兵児さん道中などの伝承事業などを通じて、お年寄りと子供たちとのふれ合いが深まりました」と事例を発表。また、鹿児島大学の山口建蔵教授が「高齢化社会への対応」と題して講演し、参加者は熱心に聞き入っていました。

事例を発表する小野会長

さつま狂句

▼兼題『釣』　榊牛尾先生選

天　隣の竿　横目で睨い
　釣い狂げ　鮫島四男坊
唱　餌が違ごとか
　隣がまた釣れっ
地　釣いマニア　穴場あ別っな
　場所を言っ　長重天玄
唱　一人で全部っ
　釣い算用かも
人　初鰹　一本釣いで
　春を呼っ　内野山伏
唱　どやら活気が
　出た港町

▼席題『浮気』　榊牛尾先生選

天　倦怠期　浮気ドラマい
　熱つ入れっ　永吉竹林
唱　実行せんで
　まだ良か中お
地　午前様　浮気ん証拠しゅ
　付けっきっ　鮫島四男坊
唱　妻が腹立っとも
　当たい前
人　浮気騒動　一日で郷中を
　つつぬけっ　小浜礼香
唱　悪事千里で
　知らん衆や居らじ

（社会教育学級生の作品）

竜門句会

殉教の島遠ざかる片時雨　竹山　洋子
受験終ふ籠りし部屋を開け放ち　加藤　白柳
早春の声湧く広場草野球　内田美津代
白木蓮を仰ぐふたたび職を得て　古江　重美
雪催い湾に日矢射すひとところ　柳田　稔
冬麗ら刈込み終えし槙の空　鶴田　耕
朝東風に烈しき火山灰のうとまるる　高木　正男
エンジンをかけ朝食の寒戻り　恒吉　斗南
啓蟄の勾配車椅子を漕ぐ　川崎黒兎

薬草知られざる効き目 ⑰

カワラヨモギ

中国の医薬の古典「神農本草経」に「カワラヨモギは黄疸を治し、久しく服用すると身を軽くし、強壮薬になる」と上薬の部に収載されております。

本州から台湾、フィリッピン、朝鮮、中国に分布、川岸や海岸の砂地に野生する多年生草本。

川原に生えるヨモギの意で、もち草に使うヨモギとは、薬効の点で全く違います。

夏、花穂ができたころ全草を刈りとり、陰干しにします。からからに乾燥したら、手でもみ花穂だけ集めます。

（注）薬草の乾燥は、ちぎって臭いのするものは陰干し、臭いのしないものは日干しにします。臭いのするものを日干しにすると、有効成分が揮発してしまう、といわれております。

日本では一般に花穂を用いますが、これが茵陳蒿で、中国では新芽のときの全草も用いられ綿茵蔯と呼び、同様の目的で用いられます。

胆のう炎、肝炎には、薬効の点で花穂または果実期の穂を用いる方がよい、とされています。

カワラヨモギは胆汁の分泌・排せつを促進させる作用があり消炎性もあるので、黄疸のような症状で口が渇き、小便の量が少なく、便秘がちで発熱の場合10～20グラムを煎服すると効く、といわれています。

また、肝炎でからだがかゆいときは、煎汁で洗ってもよいそうです。

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮下さい。

日曜在宅のお医者さん

5月

	在宅医	☎
3日	大井病院	(63)2291
4日 5日	加治木温泉病院	(62)0001
7日	鬼丸小児科	(62)0308
14日	松本医院	(63)1911
21日	玉利医院	(62)2328
28日	加治木整形外科	(62)3711

1989 4 おしらせ

鯉のぼりは電線にふれないよう

お子さまの健やかな成長を願う鯉のぼり――。大空に雄々と泳がせたいものですね。

そのため次のようなことに御注意ください。

●鯉のぼりは、電線から十分に離れたところに立てて下さい。

●鯉のぼりのポールを立てる時、倒す時は、電線にふれないよう注意して下さい。

●万一、鯉のぼりが電線や電柱にかかった場合は、危険ですから自分で取らずに、九州電力加治木営業所（☎六二―二一二八）へご連絡下さい。

「車イスと松葉づえ」貸します

第1号は貴島義徳さんに

町福祉課では「車イス七台」と「松葉づえ五組」を準備し、皆さんの御利用をお待ちしています。

これは、昨年十二月「福祉に役立てて」と柳田の松本夏江さんが町に寄贈されたお金で購入したもので、車イスの第一号は四月六日「整骨院に通う姉のために」と福祉課を訪れた貴島義徳さんに、宇都宮町長から貸し出されました。

◎問い合わせ先……町福祉課（☎62―2111　内線51）

皆さんの御利用を

電話級アマチュア無線技師養成講習会

あなたもアマチュア無線に挑戦してみませんか。

次のとおり講習会が行われます。

期日■6月5日～6月16日
会場■隼人町商工会館
時間■午後6時30分～9時45分（初日は午後6時から）
募集定員■70人
締め切り■5月10日（ただし、定員になりしだい締め切ります。）
費用■一万九千円（免許申請料を含む。）

▽主催…日本アマチュア無線連盟

▼申し込み先
☎45―4961　大田まで
☎46―1971　木原まで

無料 人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七・二B・十四（☎63 3787）
中摩多美子　反土二七五六（☎62 2768）
岡山秀樹
錦江町二五三番地二（☎63 2878）

うぶ声

出生児　保護者　自治会

揚村　友紀　勇人　空港団地
小島　雄貴　道雄　今町
津崎　優希　和宏　田中
北原　悠希　誠　於里
内村　美喜　貢　蔵王団地
窪田　悠哉　明仁　天神
小園　正義　正見　萩原
矢野由香梨　尚久　永原
田中　大志　一彦　吉原
池上　沙織　健一　赤坂
上床ゆき子　眞哉　岩原西
佐藤　拓人　裕昭　赤坂
溝上　和人　辰夫　西江口団地
安楽　智光　光二　中央
新川　優友　健一　岩原西
松元かおり　孝　西塩入下
小川緋香里　雄二　下新道
山口　詩織　敏弘　弥勒

▽三月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　西ひなば　榎並隆男（弟　潤一三）
五万円　向江町　吉屋キミ（夫　安光　八二）
三万円　萩原　花牟礼利郎（母　スマ八六）
三万円　桑迫　桑迫アキエ（夫　初　七六）
五万円　端山　寺師賢一（母　アキヲ八二）
二万円　柳田　成枝信雄（二女　妙子三三）
五万円　向江町　宮内利治（母　フサノ八六）
二万円　吉原　桃木野ユキエ（夫　昌七四）
三万円　栗野町木場　小幡　貞（夫　国重八三）
一万円　西塩入下　堀　義一（母スミ子五八）
十五万円　下新道　今田伊礎子（夫　茂次七三）
三万円　辺川下　大宮路五男（母　イト八九）
三万円　向江町　西　由子（夫　敏彦　五四）

＝町身体障害者福祉協議会へ＝

一万円　柳田　成枝信雄（二女　妙子三三）

▽三月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

新入学（園）児を交通事故から守りましょう